

産地生産基盤パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数(ア)	評価対象外地区数(イ)	評価対象地区数(ア-イ)	成果目標の平均達成率※	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見案
新潟県	2	0	2	50.0%	1	1	1	<p>評価対象地区の2件のうち①新潟市西区農業再生協議会の取組は目標達成、②西蒲区農業再生協議会の取組は目標未達成となった。</p> <p>評価対象地区の取組・目標項目は、①新潟市西区農業再生協議会は、えだまめの脱莢収穫機、色彩選別機の導入による目標項目「労働生産性の10%以上の向上」、②西蒲区農業再生協議会は、高度環境制御栽培施設を整備することでレタス類の周年計画生産を行うことによる目標項目「販売額の10%以上の増加」である。</p> <p>①新潟市西区農業再生協議会の取組は、脱莢収穫機と色彩選別機の導入により、生産面積が拡大し、販売額を向上させるとともに、労働時間を大幅に削減することができ、労働生産性は目標を上回ることができた。</p> <p>一方で、機械導入の取組者7者のうち3者が目標を達成できておらず、特に2者については、R3現状より労働時間は減少したものの、労働生産性が低下した。その要因としては、病虫害の発生で収量・品質が低下したことによる販売額の減少や、水害で一部収穫不能による販売額の減少が要因であった。今後、関係機関・団体と連携し、病害虫防除の徹底や、ほ場選定を見直すなどの対応により、全ての取組者の目標達成を目指す。</p> <p>②西蒲区農業再生協議会の目標未達成となった要因は、それぞれの品目ごとに以下のとおりである。</p> <p>【既存の取組(野菜苗)】 野菜苗については、繁忙期である春先の人員を確保できず、また、廃業した近隣法人から施設を取得したものの、本格稼働までに時間を要し生産量の増加につなげられなかったため、単位面積当たり販売額は目標を下回ったこと。</p> <p>【今回の事業に係る取組(レタス類)】 レタス類については、施設の稼働が輸入部材の搬入遅れにより、R5年度しゅん工予定であったものが、R6.11と大幅に遅れたこと、また施設稼働の初年目であったことから初期の機械調整に時間を要し、本格稼働は1月からとなった。また、播種～出荷に至る作業員の習熟期間として、全8レーンのうち4レーン稼働での生産となった。これにより生産量は目標を大幅に下回ったこと。</p> <p>さらに、単価については1株当たりの価格で契約しており、目標は1株あたり0.07kgで換算した単価となっている。当初計画のとおり、全国に販売網を持つ県外の農業生産法人(以下、販売先県外法人)に販売しているが、価格交渉により目標を上回る単価で販売できたものの、競合他社が製品の増量を図ったことにより、販売に影響が出たため、1株あたり0.12kgに増量したことで、全体の販売額が低下したこと。</p> <p>目標達成に向けた今後の取組について、既存の取組(野菜苗)については、新規取得した施設の稼働を軌道に乗せるため、適切な年間計画を組むとともに、人員の確保に向けた求人募集や、組織内での応援体制の確立に取り組むことで生産量を確保し目標達成につなげる。レタス類については、次年度は徐々に稼働ラインを増やし、完全に稼働をする予定であり、通年稼働することで、目標の生産量を確保する。また、販売価格については、需要動向を注視し価格を上げられるよう価格交渉を続けることで目標の達成につなげる。</p> <p>県としては、取組主体の投資額も大きいことから、関係機関・団体と協力しながら、生産動向や販売動向を注視し、取組主体の経営状況を確認しながら適切なアドバイスをを行い、目標達成につなげていく。</p>	<p>成果目標の平均達成率が90%未満であることから、県に対して改善状況の報告を求める。</p>
石川県	5	0	5	38.3%	4	1	4	<p>目標年度(R6)に該当する5地区のうち1地区が成果目標を達成した。</p> <p>未達地区(4地区)については、目標達成に向け、県や協議会(市町)、石川県経営構造対策事業推進委員会などによる指導・助言により引き続き支援する。</p>	<p>成果目標の平均達成率が90%未満であることから、県に対して改善状況の報告を求める。</p>

※小数点第1位まで記載する

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【北陸農政局】

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R6)	事業実施後(目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
新潟県	新潟市	西蒲区農業再生協議会		施設野菜 (ミニトマト・野菜苗・レタス類)	販売額の10%以上の増加 (10aあたり)	18,124円/10a	25,697円/10a	15,156円/10a	▲ 39.1%	<p>○10a当たり販売額は、15,156千円(目標25,697千円)となり、目標を達成することができなかった(達成率▲39.1%)。各取組の状況や、目標を達成できなかった要因は以下のとおりである。</p> <p>【既存の取組(野菜苗、ミニトマト)】 野菜苗については、繁忙期である春先の人員を確保できず、また、廃業した近隣法人から施設を取得したものの、本格稼働までに時間を要し生産量の増加につなげられなかったため、生産量は8,282,396本(目標10,212,000本)と振るわなかったものの、単価の高い品種への切り替えや契約先との価格交渉により単価が95円/本(目標75円/本)と向上したことで、販売額が789,933千円(目標763,392千円)と、過去最大の販売額となった。一方で、新規施設の取得による面積増加(5,567㎡)により、単位面積当たりの販売額は18,591千円/10a(目標20,675千円/10a)となり目標には及ばなかった。</p> <p>ミニトマトは、生産量は364,651kg(目標380,465kg)と目標をやや下回ったものの、全量契約栽培をしており、契約先との価格交渉により単価が790円/kg(目標704円/kg)となったことで、単位面積当たり販売額は14,431千円/10a(目標13,107千円/10a)となり目標を上回った。</p> <p>【今回の事業に係る取組(レタス類)】 レタス類については、施設の稼働が輸入部材の搬入遅れにより、R5年度しゅん工予定であったものが、R6.11と大幅に遅れたこと、また施設稼働の初年目であったことから初期の機械調整に時間を要し、本格稼働は1月からとなった。また、播種～出荷に至る作業員の習熟期間として、全8レーンのうち4レーン稼働での生産となった。これにより生産量は96,013kgとなり、目標(573,104kg)を大幅に下回った。なお、単価については、1,406円/kgの目標としているが、1株当たりの価格で契約しており、目標は1株あたり0.07kgで換算したものである。計画では、一株あたり秀品100円、優品70円で、全国に販売網を持つ県外の農業法人(以下、販売先県外法人)に販売することとしていたが、価格交渉により単価が上がり、現在は秀品113円、優品79円で販売している。しかしながら、競合他社が製品の増量を図ったことにより、販売に影響が出たため、市場動向も考慮し、1株あたり0.12kgに増量したことで、全体の販売額は低下した。なお、販売先については販売先県外法人の他、県内外のスーパー(原信、マミーマート、ヤオコー)への販売を開始している。(契約条件は販売先県外法人と同じ)</p> <p>○目標達成に向けた今後の取組について、既存の取組(野菜苗)については、新規取得した施設の稼働を軌道に乗せるため、適切な年間計画を組むとともに、人員の確保に向けた求人募集や、組織内での応援体制の確立に取り組むことで生産量を確保し目標達成につなげる。</p> <p>レタス類については、次年度は徐々に稼働ラインを増やし、完全に稼働をする予定であり、通年稼働することで、目標の生産量を確保する。また、販売価格については、需要動向を注視し価格を上げられるよう価格交渉を続けることで目標の達成につなげる。</p> <p>○県としては、取組主体の投資額も大きいことから、関係機関・団体と協力しながら、生産動向や販売動向を注視し、取組主体の経営状況を確認しながら適切なアドバイスをを行い、目標達成につなげていく。</p> <p>○なお、施設利用率は16.7%と低調であるものの、次年度から生産が本格化することで、達成できるものとする。</p>
石川県	白山市	白山市農業活性化協議会		ねぎ	販売額の10%以上の向上	31,595,059円	62,739,600円	21,858,149円	▲ 31.3%	<p>近年、作型的に想定を超えた高温となることに加え、一時的に集中した降雨により、根腐み及び葉からの病原菌の侵入による軟腐病の発生が顕著に確認される。</p> <p>ネギ等の野菜については乾害・湿害に弱い作物であることから、土壌中の水分率を適切に管理することが求められるが、有効な手段がないなど苦労している部分も見受けられる。</p> <p>今後は、軟腐病に対しては予防的な農薬の散布、乾害については遮光ネットや酸素供給剤の適切な使用の指導を徹底するとともに、関係機関による圃場巡回の回数を増やす等で収量の確保を図っていくこととする。</p>
石川県	白山市	白山市農業活性化協議会		水稲 そば	販売額の10%以上の増加	10,893,930円	26,200,000円	18,677,212円	50.9%	<p>一部の農地で圃場整備が完了していないことによる不作付や、圃場整備後の施肥設計の不備により単収が減り目標達成に至っていない。</p> <p>今後、圃場整備が完了した箇所から作付を行い、圃場整備後の圃場についても土壌診断に基づく施肥を行い単収向上に努め、販売額の向上を図る。</p>
石川県	羽咋市	羽咋市農業活性化協議会		水稲	総販売額の6%以上の増加	21,416,446円	34,841,356円	25,583,972円	31.0%	<p>単収が389kg/10aと低く、面積も目標に達していないことが要因であることから、直播から移植に変えることで収量の確保を図るとともに農地集積に向け支援を行う。</p>
石川県	金沢市	金沢市農業活性化協議会		水稲	所得額の10%以上の増加	17,461円	21,000円	17,802円	9.6%	<p>R6は作付面積の増加及び米価の上昇により米販売額は増加したものの、物価高騰の影響により、製造原価のうち特に賃金や作業委託費、支払土地代等が基準年であるR3と比較し大幅な増額となり、成果目標未達成となった。次年度は引き続き経営面積の拡大及び大型農業機械を用いた作付を継続するとともに、水管理マニュアルの徹底により、単収の増加及び管理作業の効率化によるコスト削減を図っていくことで、所得額の向上を図る。</p>

(注)1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。